

くろいわっ子放課後子ども教室

連絡先

場 所：延岡市教育委員会 社会教育課

電 話：0982-22-7032

FAX：0982-33-6874

E-mail：s-kyouiku@city.nobeoka.miyazaki.jp

1 事業の目的・理念

放課後に小学校の余裕教室や図書室、体育館等を活用して、子どもたちの安心、安全な活動拠点（居場所）を設け、地域の方の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会のなかで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。

2 運営について

主な活動場所	図書室・体育館・余裕教室・運動場	平均参加人数	19人 登録人数 27人
開設時間等	毎週 月～金 年約(222)回 放課後～午後5時 (冬季～4:30)	対象学年	小学校1～6年生
コーディネーター	活動内容 子ども達と安全管理員との関係づくりへの配慮・学校と行政、安全管理員との連絡調整・体験活動、安全指導・安全管理員の配置・研修企画・保護者への広報（くろいわっ子だより作成） (1)人		
安全管理員	活動内容 遊びや学習活動の安全な見守りや指導 体験活動や昔の遊びの指導や環境づくり 1日3人で対応 男3・女7人 (60代) 登録数 (10)人		
学習アドバイザー	(0)人		

3 活動紹介（特色等）

- 20分間の学習後 好きな遊び（札・絵かき・読書・ドッジボール・パドミントン）等をする。
- 全学年同じ時間に授業が終わる水曜日に月一度、全員での楽しい体験活動を取り入れている。
昔の遊び（水鉄砲作り、竹とんぼ作り、紙飛行機作り、七夕飾り、大凧作り、大型蓬莱かるた）ソフトバレーボール、ハンドベースボール、神社参り等を実施
- 安全管理員が竹山に入り竹の切り出しを行い「竹の切り方」「ひごの削り方」を指導し、「竹とんぼ作り・水鉄砲作り」「大凧作り」などを行った。
- 物がなかった時代に遊んだ経験で子ども達に道具を遣わない遊びの指導をしている。
- 月1回校区内会議を実施。安全管理員、学校職員、行政で月の反省、活動の話し合いの実施。
- 夜1回保護者会を実施。子どもたちに人気のブラバン工作や読み聞かせを実施し好評であった。
- 県の研修の他に、市独自の研修会や校長先生からの研修等を取り入れている。

4 参加者・保護者の感想・意見等

- 子ども**
全校児童が登録し、異年齢でまとまって遊んでいる。参加時間が10分位でも楽しく参加している。
- 保護者**
昔の遊び等家庭ではできない体験を多くしている。放課後そのまま遊べて安心と喜ばれている。
- 安全管理員**
安全管理員の半数が本校の卒業生ということもあり自分たちが楽しんで見守っている。地域で子ども達と会話できるようになり元気がもらえる。異学年でひとつにまとまって遊び「思いやり」が育っている。子ども達のことば遣いや礼儀が育っている。
- 学校**
保護者や教師以外の大人と関ることで人間関係を学ぶ場になっている。地域との連携の場になり、学校や地域で子ども達が見守られ安心、安全な環境づくりが進められている。

5 事業全体の成果と課題

- 安全管理員同士仲が良く意欲的に楽しんで活動している。
- 校区内会議に学校の先生が全員参加し学校ぐるみで安全管理員、行政と情報交換をしている。ふだん学校ではみせない子どもの姿等を話し合うことで連携がとれ信頼関係が築けている。
- 子ども達や安全管理員を通して地域での顔見知りが増え、交流も生まれ、日々、子ども達とのふれあいや見守りが広がっていると感じる。安全管理員に保護者の参加があると世代関係も広がり連携が深まるのではないかと思う。

■くろいわっ子放課後子ども教室活動の様子



開校式の様子



学習の様子



ソフトボール遊び



折り紙遊び



水鉄砲作り



ジャンボしゃぼん玉



七夕飾り



ゲーム (りすと木こり)



ホットケーキ作り



竹とんぼ遊び



手作り大凧上げ大会



初詣



校区内会議の様子



第1回保護者会の様子